

科目コード	2688140	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、デジタルメディアや情報通信技術（ICT）といった技術の活用・普及が社会にどのような影響を及ぼしているのか、また、逆に、社会や文化がデジタルメディアの活用・発展にどのような影響を及ぼしているのかについて考えていきます。さらに、実際にインターネット上で無料で提供されているリソースを閲覧・活用することで、デジタルメディア活用の可能性を体験していただきます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	デジタルメディアと社会		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	アオキ クミコ 青木 久美子 放送大学教授		
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		【到達目標】 本授業では、デジタルメディアが社会に与える影響を多角的に理解できるようになり、その変化を批判的に分析する力を養うことができるようになる。受講者は、メディア技術の進化、情報流通の特性、社会的・文化的影響、倫理的課題を学び、デジタル社会における主体的なメディア利用と情報リテラシーを高めることができるようになる。最終的に、デジタルメディアの役割を総合的に捉え、持続可能なメディア環境を考察できる力を身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 メディアの変遷とインターネット 第2回 モバイルメディア 第3回 ソーシャルメディア 第4回 ジオメディア 第5回 デジタルエコノミー 第6回 オンライン学習 第7回 デジタルメディアとプライバシー 第8回 人工知能（AI）と未来社会 【学生へのメッセージ】 この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して事前学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 インターネットとシステムWAKABAへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 GoogleのブラウザであるChromeをダウンロードしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましい）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール Chromeブラウザが必要です。 4. その他 最新のものにアップデートしておいてください。 放送大学のシステムにログインするためのパスワードをご用意ください。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。